

たいし 議会だより

第173号

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

臨時会 新しい議会構成決まる	p 1 ~ p 4
令和2年9月定例会で決まったこと	p 5 ~ p 8
5 議員が 町政を問う (一般質問)	p 9 ~ p 11
議会のうごき	p 12

新しい議会構成決まる



令和2年10月30日に第3回臨時会が招集され、正副議長
の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任
が行われました。

就任あいさつ

議長 (第46代)

村井 浩二



副議長

森田 忠彦



監査委員

中村 直幸



住民の皆様には日ごろから、町議会活動
に対しまして、格別のご支援を賜り、厚く
御礼申し上げます。

私たちは、10月30日の臨時会におきまし
て、議長、副議長、監査委員に就任いたし
ました。誠に光栄でありますとともに、責
任の重さに身の引き締まる思いでござい
ます。

また、未だ収束の兆しが見えない中、新
型コロナウイルス感染症対策への取り組
みにご尽力いただいている皆様、医療従事
者の皆様に改めて敬意を表しますととも
に、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が、住民
の皆様を不安に陥れ、日常を一変させ、経
済活動にも大きなダメージを与えました。

来年は、太子町の名称のゆかりでありま
す聖徳太子の没後1400年御遠忌の年
であります。聖徳太子の和の精神で、住民・
関連自治体と連携をして、新たな観光産業
の発展につながるよう努めて参ります。

我々議員は、本来議員に課せられた職責
を改めて見つめ直し、安心、安全で活気と
魅力があふれるまちづくりをめざし、全議
員が一丸となり、チーム議会として、全力
を尽くして参る所存であります。

今後とも、皆様方のお一層のご支援と
ご協力をお願い申し上げます。

第17期 太子町議会議員新メンバー10人紹介

1



斧田 秀明

2期目
春日98-15
☎98-3459
〈しなが会〉

2



建石 良明

7期目
山田3655-2
☎98-5014
〈大阪維新の会〉

3



西田 いく子

7期目
春日98-429
☎98-1655
〈日本共産党〉

4



藤井千代美

1期目
山田1834
☎98-1112
〈日本共産党〉

5



辻本 博之

1期目
太子15-2
☎98-4340
〈公明クラブ〉

6



辻本 馨

3期目
山田3172
☎98-3585
〈自民党〉

7



中村 直幸

5期目
山田823-115
☎98-3566
〈自民党〉

8



森田 忠彦

5期目
山田2880
☎98-0022
〈自民党〉

9



山田 強

5期目
春日1752
☎98-0863
〈自民党〉

10

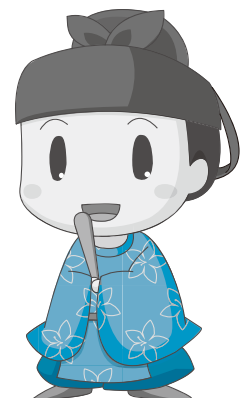


村井 浩二

3期目
山田461-1
☎98-3122
〈自民党〉

議席順に
紹介しています

※ 〈 〉 は、会派名です



常任委員会

総務まちづくり 常任委員会

所管は、総務部・まちづくり部、議会議務局に関する事項

委員長

中村 直幸

副委員長

斧田 秀明

委員

建石 良明

西田いく子

藤井千代美

辻本 博之

辻本 馨

森田 忠彦

山田 強

福祉文教

常任委員会

所管は、健康福祉部、教育委員会に関する事項

委員長

山田 強

副委員長
委員

建石 良明

斧田 秀明

西田いく子

藤井千代美

辻本 博之

辻本 馨

中村 直幸

森田 忠彦

山田 強

予算常任委員会

所管は、一般会計の予算（補正予算も含む）に関する事項

委員長

辻本 馨

副委員長

藤井千代美

委員

斧田 秀明

建石 良明

西田いく子

辻本 博之

中村 直幸

森田 忠彦

山田 強

決算常任委員会

所管は、一般会計の決算に関する事項

委員長

森田 忠彦

副委員長

辻本 博之

委員

斧田 秀明

建石 良明

西田いく子

藤井千代美

辻本 馨

山田 強

議会運営委員会

議事日程や運営などを協議

委員長

森田 忠彦

副委員長

中村 直幸

委員

建石 良明

西田いく子

辻本 博之

山田 強



特別委員会

広報特別委員会

『議会だより』の作成、発行

委員長

西田いく子

副委員長

斧田 秀明

委員

藤井千代美

辻本 博之

辻本 馨

中村 直幸

村井 浩二

生涯学習施設建設 調査特別委員会

委員長

辻本 馨

副委員長

西田いく子

委員

斧田 秀明

建石 良明

藤井千代美

辻本 博之

中村 直幸

森田 忠彦

派遣議員

山田 強

村井 浩二

南河内環境事業 組合議会議員

山田 強

大阪広域水道 企業団議会議員

西田いく子



第60回文化祭 菊花展特別展示（庁舎1階玄関前）

会派構成

◎ 幹事長

自民党

◎ 山田 強

辻本 馨

中村 直幸

森田 忠彦

村井 浩二

日本共産党

◎ 西田いく子

藤井千代美

大阪維新の会

◎ 建石 良明

しなが会

◎ 斧田 秀明

公明クラブ

◎ 辻本 博之

「会派」とは、議会内に設置された議員の主義主張を同じくする同志的集合体のことをいいます。議長に対して届け出を提出し、認定されます。会派には、公費として政務活動費（一人あたり月額1万円）が交付され、政策の研究に使われます。

各種委員・協議会等委員

都計審・農振整促協	ゴルフ場環境保全協議会	民生委員推薦会
斧田 秀明	建石 良明	山田 強
辻本 馨	辻本 博之	国民健康保険運営協議会
中村 直幸	交通事故をなくす運動推進協	建石 良明
介護保険事業計画推進	藤井千代美	西田いく子
建石 良明	辻本 博之	健康づくり推進会議
人権尊重のまちづくり審議会	辻本 馨	西田いく子
斧田 秀明	村井 浩二	表彰審査会
献血推進協議会	総合計画審議会	山田 強
辻本 博之	斧田 秀明	人権協会
山田 強	西田いく子	辻本 馨
空家等対策協議会	中村 直幸	学校給食運営委員会
藤井千代美	森田 忠彦	藤井千代美

条例改正

●議会委員会条例中改正の件

【提案理由】9月議会で、議員定数が11人から10人になったことを受け、常任委員会の委員定数を改正。

選任同意

【内容】決算常任委員会は議長、監査委員を除く全議員8人、それ以外の常任委員会は、議長を除く全議員9人による審議にする。

●教育委員会委員

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

明石 志郎氏

【任期】令和2年11月21日から6年11月20日まで。

第3回臨時会 審議結果一覧表

件名	審議結果	斧田 秀明	建石 良明	西田いく子	藤井千代美	辻本 博之	辻本 馨	中村 直幸	森田 忠彦	山田 強	村井 浩二
議会委員会条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
監査委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 —議長 ※可否同数の場合は、議長採決

8663万5千円

は、どう使われたのか

770円の黒字決算 (実質収支も同額の黒字)

9月定例会 主要な決りごと

9月定例会は、9月1日から、25日までの25日間にわたり開会されました。町長より平成31年度一般会計歳入歳出決算認定、ほか選任同意等の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。



一般会計

質疑

問 実質単年度収支が2億2683万6千円の赤字となった原因は。

答 歳出では、社会保障費の増大、専門職の配置、業務委託、介護給付や後期高齢者医療に対する繰出金の増額など、経常費用増。特に退職者の増加や普通建設費の増加などが原因。歳入では、普通交付税等は増加したが、各種交付金が減少していることも原因に。

問 経常収支比率が、103・7%だが、単年度だけで財政状況が厳しいと言えるのか。

答 経常収支比率が100%を超える結果となったが、退職金を除けば、100%を下回っている。事業の実施時期を見極めていれば、財政調整基金を取り崩す状況も異なる結果があったとも考える。

問 ①社会福祉協議会への支出総額は。②福祉センターバスに係る費用は。

答 ①7816万3899円が補助金と委託料。内訳は、府補助金・交付金が1269万2千円と10万5千円、国庫補助金が900万円。一般財源が約5640万円弱。②車両で約42万円、修繕費約6万3千円、運転手委託料約272万円、合計約320万円強。

問 ①商工会支部助成金、富田林商工会運営助成金は、コロナ感染症でのイベント中止で、返還があるのか。

答 太子町支部の夏祭りには中止となり決算で処理する。他のイベントも適切に処理する。

問 台風接近に伴い、水利組合長から池の事前放流の指示があった。役場との関係は。

答 地域整備課で、注意すべき箇所は把握しており、水害が予測される場合、水を切りに行き、ゲートを閉める等している。地元水利組合との事前予防に対する連絡体制は確立されているため連絡方法等を検討したい。

平成31年度 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	52億4995万円	52億246万9千円	4748万1千円
国民健康保険特別会計	14億8226万3千円	14億6928万3千円	1298万円
山田財産区特別会計	1256万3千円	1234万8千円	21万5千円
春日財産区特別会計	87万5千円	66万7千円	20万8千円
下水道事業特別会計	4億2444万1千円	3億9726万3千円	2717万8千円
介護保険特別会計	12億1495万8千円	12億80万5千円	1415万3千円
後期高齢者医療特別会計	2億158万5千円	1億9540万2千円	618万3千円
合計	85億8663万5千円	84億7823万7千円	1億839万8千円

平成31年度 決算認定

総額85億

31年度一般会計4748万

問 ジャンボタニシで農作物への被害が出る中、農家からの声が届く体制づくりは。

答 被害発生は聞いている。農業委員会定例会で、事例について協議を行い、パトロールも検討したい。

問 総合学校支援事業の事業内容は。

答 スクールソーシャルワーカーを各学校に週1回年間45回配置し、子どもたちの家庭環境の中での虐待への早期発見等に対応する活動を行っている。

問 二子塚古墳保存整備事業は、地域振興や観光振興の活用に対して補助金が出るのか。

答 土地は史跡の範囲だけが補助金の対象。ガイダンスやトイレ等、地域振興等活用部分も対象となり、全体として50%が補助金の対象になる。

問 ①学校給食での地元食材の使用割合は。②米の取扱いは。③学校臨時休業対策補助金の制度を活用した地元農家、納入業者はいるのか。

答 ①昨年度の野菜・果物で61品目使用し、37%が地場産。地場産の定義は、府内と近隣の葛城市と香芝市を含めたものが対象。②一昨年からの農協と契約。去年は8カ月間使用した。今年も、年間通して、府内の米を使用。③主食、牛乳の事業者に対し、3月の学校臨時休業に伴う給食中止に係る契約違約金を支払う予定。

討 論

【反対】 コロナ禍の中、何より必要なのは公助。高齢者が楽しみにしていた敬老祝い金を百歳以外廃止。地域公共交通運行開始が、住民に喜ばれている一方、福祉センターバス

や乗合ワゴン車を従来通り走らせてほしいという声がある。財政が厳しいと言うが、府内町村の中で3番目に基金を多く持っている。国民健康保険料、介護保険料、上下水道料金などの引き下げ、迅速なコロナ対策、防災対策の強化など、住民福祉の増進を求めて反対。

【賛成】 国の幼児教育・保育の無償化に合わせた副食費助成、多胎児妊婦の健診費用助成、河川改修の計画的な維持管理、地域公共交通運行計画策定や施設の整備、中学校の大規模改修工事等、住民ニーズを踏まえた施策実施は評価する。コロナ対応で、先行きが不透明な中、公共施設の老朽化対策、少子高齢化社会の進展に伴う財政需要が確実に見込まれる。堅実な財政運営、選択と集中の考えのもと、持続可能なまちづくりを要望して賛成。

平成31年度末 積立金現在高

財政調整基金	14億9401万9千円
減債基金	787万6千円
退職手当基金	1億2490万4千円
老人福祉基金	374万2千円
公共施設整備基金	11億3795万円
環境衛生等基金	2586万8千円
太子まちづくり「夢」基金	3456万円
たいし・ふれ愛福祉基金	2807万4千円
聖和台汚水排水処理施設基金	0円
ふるさと太子応援基金	4479万4千円
森林環境譲与税	73万6千円
合計	29億252万3千円

平成31年度末 地方債現在高

公共事業等債	4224万円
一般単独事業債	4億7157万6千円
学校教育施設等整備事業債	7億2872万1千円
臨時財政対策債	27億4666万8千円
その他	2億3943万3千円
合計	42億2863万8千円

国民健康保険

質疑

問 広域化に伴う統一保険料率の府内の状況は。

答 統一保険料率を採用しているのは8市町。激変緩和措置を反映しているのは6市町。本町を含めた29市町村は、独自の保険料率を採用。1300万円の基金繰入を計上したことで、保険料上昇を約4%まで抑制している。

※意見を付けて賛成の討論がありました。

後期高齢者

質疑

問 府の後期高齢者医療保険料は、全国何番目の高さか。

答 5番目。一人当たり8万692円。

討論

〔反対〕 窓口負担を原則1割から2割へ引き上げが、国で検討されている。高齢者いじめの制度撤廃を求め反対。

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第5号)	7105万1千円	68億8477万5千円
一般会計(第6号)	4億5667万5千円	73億4145万円
国民健康保険(第2号)	1424万3千円	14億5904万9千円
介護保険(第1号)	1690万7千円	13億4902万5千円

●一般会計(第5号) 一般会計(第6号)

質疑

問 子ども医療費助成は、年間費用をどの程度見込んでいるのか。

答 750万円見込。

問 観光案内板整備委託料の内容は。

答 14箇所、18枚設置。日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語表記。既存の看板の貼り直しも検討。

問 インフルエンザ予防接種委託料の対象者数は。

答 3142名分の予防接種費用を計上。

条例

質疑

問 未婚のひとり親世帯への寡婦控除適応による影響は。

答 税額による階層区分が下がる場合は、保育料が減少。500万円以上の所得がある方は控除対象外になる。

●子ども医療費の助成に関する条例改正の件

〔内容〕 子育て世代の負担軽減を図るため、医療機関受診時の医療費助成の対象年齢を、現行の15歳から、18歳に達した日以降における最初の3月末日を経過するまでの者に拡大するための改正。

〔施行期日〕 令和3年1月1日

●手数料徴収条例中改正の件

問 町内のマイナンバーカード保有率は。

答 8月31日時点、2010人、約15%。

選任同意

●固定資産評価審査委員会委員の選任

請願

●議会議員定数の削減を求める請願

〔提出者〕 太子町区長 谷和美氏、他55人

〔要旨〕 人口が減少している折、議会の行政改革、新型コロナウイルス対策や生涯学習施設整備事業などで多くの財源が必要とされていること、河南町で太子町よりも1人少ない議員定数に改正されたことから太子町議会においても定数削減を求める。

全会一致で選任に同意しました。

澤田 文男氏

〔任期〕 令和2年9月29日から5年9月28日まで

質疑

問 森田議長が依頼してもない区長名で出されたお願い文書の存在を知っていたのか。

答 間違いがあったと連絡を受けた。

討論

〔反対〕 陳情、請願に対しては、憲法に規定された請願権として保障していることから、その大切さを十分認識しているが、議員定数は住民が議員に立候補

質疑

●税条例等中改正の件

●議員の定数を定める条例中改正の件

議員提案

※採決前に「不備がある請願は、審議の対象にならない」と、退席を求める棄権の申し出がありました。

【賛成】 今回の請願の内容は急を要するもの。太子町区長会会長金谷和美氏をはじめ、町内全区長、多数の町会長、町民から提出されたもので、趣旨に明記されているとおり、この際、議会の行政改革をお願いするもの。住民の声を議員は、真摯に受け止めなければならぬので、賛成。

【賛成】 今回の請願の内容は急を要するもの。太子町区長会会長金谷和美氏をはじめ、町内全区長、多数の町会長、町民から提出されたもので、趣旨に明記されているとおり、この際、議会の行政改革をお願いするもの。住民の声を議員は、真摯に受け止めなければならぬので、賛成。

【提出者】 建石良明、町村議会議長会では、遅くとも1年前に周知すべきとある。議会で十分協議し、住民に周知の上、進めるものであり、反対。

【提出者】 建石良明、寺町幸雄、斧田秀明

【提案理由】 財政状況も逼迫する中、住民福祉向上のため、一層の行政改革に取り組み必要がある。太子町民の多くの皆様の請願も提出された。「行財政改革・財政健全化」を行政側に求める立場として、議会自ら議員定数を減らすことでその姿勢を見せるべき。よって、定数を11人から10人への削減を提案する。

討論

【反対】 憲法と地方自治法で保障された議会制民主主義に反するもの。

【賛成】 身を切り、改革の姿勢を示すことが住民の信頼に込えられるもの。

第3回定例会 審議結果一覧表

Table with 12 columns (議員名) and multiple rows (審議結果). Columns include 森田忠彦, 建石良明, 寺町幸雄, 山田強, 村井浩二, 西田いく子, 阪口寛, 斧田秀明, 辻本馨, 中村直幸, 羽山茂男. Rows list various council items like budget decisions, tax regulations, and council member numbers.

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 ー議長 ※可否同数の場合は、議長採決

9月定例会の一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

[仮称]生涯学習施設の建設について P 8

田中町長の今後の町政運営について P 8

安全・安心の防災対策を P 9

住民に優しい公共交通へ P 9

太子町の学校教育について P10

キャッシュレス決済の普及促進について P10



[仮称] 生涯学習施設の建設について

建石 良明 議員

問 検証結果は。今後の財政運営にどう取り組むのか。

答 検証の結果、庁内での情報共有や協議不足が明らかになり、起債の活用条件を整えるため、観光まちづくり拠点の整備は中止と判断。また、新施設内に防災備蓄倉庫を整備することで新たに起債を活用し財源確保を図る。避難所活用や投票所確保についても協議できた。新型コロナウイルス感染症の影響で、財

政状況は一層厳しさを増すことが想定される。経費節減を徹底し、しっかりと財政収支見通しを立て、収支改善の必要額を見極め、歳出抑制、自主財源の確保、使用料収入の見直し等の行財政改革に取り組んでいく。

Q田中町長の今後の町政運営について

問 町政運営における府との連携は。

答 新型コロナウイルス感染症について、富田林保健所等、府との情報共有や連携を図り、感染拡大防止や太子町独自の支援策に取り組んできた。また、歩道等の道路整備や児童生徒の学力向上の取組みなど各種支援のほか、財政面では、「緑の回廊」改修工事への補助金交付決定を受けた。引き続き、様々な分野での府とのパイプを生かして太子町の発展に取り組んでいく。

問 所信表明等で掲げられた施策についての取り組み状況は。

答 まずは、子育て世帯の負担軽減を図るため、子ども医療費助成の対象年齢18歳までの引上げを令和3年1月から着実に実施。少人数学級の実現や検定試験補助等の充実など検討中の施策も含め、できるものから順次実施していく。町政を預かる者として、持続可能な安定した町政運営を行い、行政サービスを確実に提供することが重要。そのため、行財政改革にもしっかりと取り組むつつ、行財政運営を行っていく。今後、重要な施策の実施にあたっては、住民皆様のご意見をきちんとお聴きしながら、また、庁内においては職員の知恵や知識を生かしながら、全職員が一丸となつて着実に施策を実行していく。

安全・安心の 防災対策を



阪口 寛 議員

問 環境破壊による地球の温暖化、二酸化炭素の排出による気候変動が人類の大きな脅威になり、記録的な豪雨、超大型台風による大きな被害が予測される。さらに、新型コロナ感染が広がる中、いっそう安全対策が必要。町の対応は。

停電時にスマートフォンが利用できるよう、太陽光パネル照明灯・非常用コンセント付きを設置し対応を。防災備蓄倉庫の整備がされているか。

答 感染対策マニュアルに基づき、収容人数、避難者同士の間隔や部屋の換気、清掃消毒などの感染症対策をとる。感染者や濃厚接触者等を対象に、保健センターを専用避難所とし、要配慮者には福祉センターに福祉避難所を開設する。

停電時の電源は、備蓄資器材の発電機で対応するが、複数の電源確保は今後調査研究する。

問 太子町防災ガイドマップの発行と活用について、また、危険箇所を整備、住宅の耐震化など減災、予防対策は。

答 浸水想定区域の変更や避難勧告等の名称変更、さらに、コロナ対策を含めたガイドマップ作製のため、しばらく猶予をいただきたい。新たなガイドマップが完成した際は、全戸配布を行うとともに、利活用方法についての周知については広報や地区防災組織の協力を仰ぐなど有効な手段を検討する。

土砂災害特別警戒区域123か所が指定されているが、一部は対策事業が実施されている。区域内の住宅に対し、移転や補強の補助制度を設けている。

住宅の耐震化は、国及び大阪府の補助を受けて事業を実施しているが本町独自の補助は困難なため、国・府に拡充を要望する。住宅の中に耐震シェルター

住民に優しい 公共交通へ



西田いく子 議員

問 6月1日からの公共交通運行開始後、感じている課題、届いている住民の声は。

答 運行開始から4か月弱経過。コミュニティバスでは、乗車案内やコロナ感染症対応なども含めた補助員の配置を行い、車内温度に配慮し、換気や車内のアルコール消毒を行うなど、利用者の安全・安心の向上に努めている。公共交通空白・不便地域の方々から、総じて便利になったという声

があり、百円チケットなど助成制度も積極的な利用がある。一方でコミュニティバスのダイヤの遅れ、金剛バスとの接続などの改善を望む声もある。ご意見等も含め、地域公共交通会議で、評価・検証を行う。見直しが必要なものは周知を図った後、来年6月よりの見直しを行いたい。コロナ禍の状況なども踏まえ、地域公共交通会議において慎重に議論を進める。

問 福祉センターバスと予約型乗合ワゴン車の実態は。介護タクシー助成の実施を。

答 福祉センターバスは、6月から、コミュニティバスに。利用者は、昨年6〜8月で、1日平均99・1人。本年6〜8月は、57・3人に。コロナウイルスの影響や感染防止のための人数制限も減少の理由。終日運行で、選択肢が増えたことに好

意的な声がある。一方、乗降時間等の余裕がなく、ダイヤの遅れなどの課題もある。

予約型乗合ワゴンは「公共交通の利用が困難な人」に対する移動支援に再編。休止になって、福祉センターに行くことを諦めたとは聞いていない。買い物リハビリと交流サロンを兼ねた「お買い物ツアー」にたいしくん外出支援号を検討。

高齢者が気軽に出かけられるよう、今後本社協と連携し、サロン送迎、地域支え合い型移動サービス等の事業検証を行う。

要望 住民が、自由に安全に移動することは、健康で文化的な最低限の生活を営むうえで欠かせない。生存権、幸福追求権などをもとに移動する権利を保障する施策が求められている。公共交通の充実で安心して住み続けられるまちづくりを。

太子町の学校教育について



斧田 秀明 議員

問 学校再開に向け教育委員会と学校が課題解決した内容、及び臨時休業期間中に町立中学校が実施した取組の独自性を問う。

答 コロナ対策で失われた授業時数の確保は、夏冬の長期休業の短縮で、大幅に確保した。

2学期には、体育大会や文化祭、修学旅行等の学校生活の節目ともなる行事がある。児童・生徒の学びに配慮する意味で、中止を前

提にしないで、感染症対策を行いながら、例年通りの実施に向けて検討を重ねている。

感染防止対策では、健康観察チェックシートを活用した日々の健康観察、ソーシャルディスタンスの確保等、引き続き適切な指導を図る。

2点目の、町立中学校の独自事業については、若手教員が中心となり、Web会議システム「Zoom」を使い、生徒が家庭にいないが担任やクラスメイトの表情を互いに見て話す「Zoom朝会」や、双方向授業を試行実施した。

今後の再流行に備え、「新しい日常」を習慣化していくことが必要だと考えており、教育委員会としても適宜指導を行う。

問 太子町の学校教育の今後の在り方について問う。

答 感染症対策のた

め、学校活動の縮小を余儀なくされているが、教育活動の原点である「知・徳・体」のバランスがとれた教育目標を実現するため、指導計画を立て直している。

GIGAスクールネットワーク構想では、動画の双方向通信を想定したネットワーク環境の整備と、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備により、感染症の再拡大により学校活動に支障が出てきた際にも、教育活動が持続可能な体制を整えていく。

また、学業の遅れや感染の不安などに対する児童・生徒への「心のケア」について、よりきめ細やかな支援を行う。

学校、保護者が手を携えて協力しながら、「太子町の教育」が子どもたちの未来を切り拓く力となるよう、これからも取り組みを推し進めていきたい。

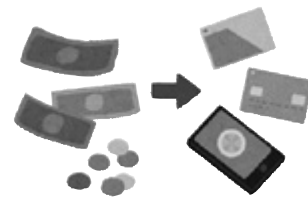
キャッシュレス決済の普及促進について



村井 浩二 議員

問 近年、飲食店やコンビニでの代金支払い、公共交通機関での運賃など民間におけるクレジットカードはもとより、交通系やコンビニ系電子マネーやスマートフォンを活用したQRコード決済などキャッシュレス決済が飛躍的に増えてきている。一方で、行政はキャッシュレス化がほとんど進んでいないのが現状。一部の事務では、クレジットカード決済での支払いが出来るが、住民の利便性を高める

為、キャッシュレス化を進めていくべきと考えるが、本町の考え方を伺う。



答 府においては、新たな成長戦略案の中で、住民生活の質の向上を図るため、府内全域でスマートシティ化が掲げられている。

公金収納におけるキャッシュレス決済の主な手段としては、口座引落しによるクレジットカード納付、ペイジー電子納付、スマートフォン決済アプリ納付がある。特にスマートフォン決済アプリの導入が急速に進んでいる。また、本町の経済活動、観光振興の観点について、外国人観光客はもとより国内観光客を呼び込むためのツールになるもので

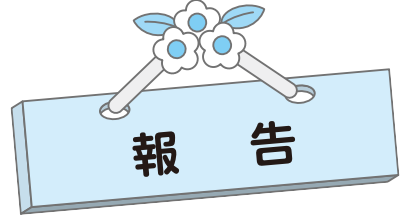
あると認識している。また、本町においても、課題なども含め、国・府の動向や近隣自治体の事例などを参考にしながら、導入に向けて調査、研究をして参りたい。

要望 すべての事務事業において一度検討して、導入可能な事務から順次導入していければと考える。

コミュニケーションバスの運賃など若年層の利用促進にもなるのではないかと。多くの住民が期待されている。田中町長の事業手腕を発揮していただけるように求め



議会のうごき



視 察



コミュニティバスで畑・山田コースへ

9月11日、地域公共交通と総合体育館（トイレ改修）への視察を行いました。

6月1日から運行が始まった「地域公共交通」ですが、太子町議会議員全員、主な交通手段は自家用車で、利用している議員は少数です。実際に乗ってみて実感すること



改修されたトイレ

運動不足解消にぜひ、ご利用ください。

と、利用している住民さんの様子や感想を聞かせてもらうことを目的にして、太子町役場前から、金剛バスで上ノ太子駅まで行って、中央循環線で太子町役場まで戻り、今度はコミュニティバスに乗り継ぎ、畑まで行って、役場へと、町内を循環しました。住民さんもチケット、パスカード、小銭、乗り継ぎ券と用意が大変ですけど、金剛バスの運転手さんも慣れていなくて、10分程度遅刻、乗り継ぎが予定通りにならず、改善の必要性を感じました。

次に、バスを降りて、総合体育館へ。白に統一されたトイレは清潔感があり、洗面台も手洗いが容易にできるように工夫されています。平日は、空いているようなので、運動不足解消にぜひ、ご利用ください。

議会改革協議会

9月24日に開催された議会改革協議会では、9月1日に本会議で採択された「太子町議会議員定数の削減を求める請願」に呼応し建石議員、寺町議員、斧田議員から提出された「太子町議会議員の定数を定める条例中改正の件について」（定数を11人から10人に削減）

生涯学習施設建設調査特別委員会

9月14日、「第28回生涯学習施設建設調査特別委員会」が開催されました。4月に新町長が誕生してから、「検証する」と生涯学習施設建設に係る工事費の予算が計上されず「いつ検証を終え、予算計上するのか」と、住民、議会から何度も声が上がっていました。ようやく、検証を終え（仮称）生涯学習施設建設事業に関する検証結果」が示されました。「◎観光協会事務所及び調理室を別施設に新設することとは、公共施設等適正管理推進事業債の活用条件に反することになるため、計画を中止。移転先は別途検討。◎一階の倉庫の一部を防災備蓄倉庫として活用することにより、新たな追加財源として緊急防災・事業債を活用。◎投票所機能や会議室として利用することについて、住民のみなさんが喜んで利用できる施設となるよう、引き続き特別委員会で議論してまいります。

9月24日に開催された議会改革協議会では、9月1日に本会議で採択された「太子町議会議員定数の削減を求める請願」に呼応し建石議員、寺町議員、斧田議員から提出された「太子町議会議員の定数を定める条例中改正の件について」（定数を11人から10人に削減）

議員の香典・弔電の自粛、挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様の弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

次の定例会は、12月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。